

出雲駐屯地

# サマーフェスタ2016開催



発行所 島根県隊友会  
編集協力 出雲駐屯地  
広報室  
印刷所 (有)福間秀文堂



出雲駐屯地(司令 安河内2佐)は、7月24日、サマーフェスタ2016(駐屯地開放行事)を開催した。当日は天候にも恵まれた夏休み最初の日曜日であり、県内外から約200人の来場者で大いに賑わった。

行事は、全国レベルのマーチングバンドである出雲北陵高等学校吹奏楽部による若さ溢れる軽快な演奏で幕を開け、第13偵察隊の技術、妙技を披露したオートバイドリル、機動や空包射撃など動きを交えた装備品展示へと続き、午後からは74式戦車、高機動車、96式装輪装甲車の体験試乗が行われ、行事終了まで長蛇の列が途切れることがなかった。

また、駐屯地曹友会による模擬売店や第304施設隊が担当した「ちびっ子広場」も多数の家族連れで大盛況であった。

来場者は恒例となった本行事を通じて夏休みの思い出を作ることも出雲駐屯地に対する理解を一層深めた。



▲偵察隊による妙技



▲出雲北陵高校吹奏楽部によるオープニング演奏



▲曹友会による模擬売店



▲熱心に装備品の説明を受ける来場者



▲ちびっ子広場也大盛況



出雲市

防 災 訓 練

「防災の日」の9月1日、駐屯地は出雲市防災会議が主催した、平成28年度出雲市防災訓練に参加した。

本訓練は「9月1日8時30分に震度6弱の地震が発生し、出雲地区において建物倒壊等の被害が生じ、人命救助、物資の補給、避難所開設等の対応が必要となった」との想定で行われた。

午前9時に駐屯地災害対策本部が設置され、駐屯地警備幹部（偵察隊 日野1



▲要支援者を搬送する隊員▼



▲情報収集する警備幹部



▲現地で調整する隊員

尉)以下3名の隊員を派遣し、情報収集にあたった。その後、出雲市四絡コミュニティセンターに避難所が開設され、偵察隊、施設隊からそれぞれ計7名の隊員を派遣し現地の関係機関と連絡調整を行い、小型2両及び救急車の装備で被害状況の確認、要支援者搬送等の活動を実施した。本訓練に参加して、陸上自衛隊出雲駐屯地の行動を周知させ、防衛基盤の拡充を図ることができた。

職 場 体 験 学 習 支 援

駐屯地は、9月7日～9日、出雲市立第二中学校、同向陽中学校、9月12日～13日、松江市立湖北中学校、9月13日～15日、出雲市立第三中学校、9月14日～16日、出雲市立斐川西中学校、



▲心肺蘇生法を学ぶ参加者

同斐川東中学校、同河南中学校の各学校に対し、それぞれの期間、職場体験支援を実施した。

体験学習内容は主に基本教練、救急法野外衛生教育、土のう作成、ロープ訓練、車両の点検整備など自衛隊ならではの内容であった。参加した生徒たちは真剣な眼差しで取り組み、「何事にもチャレンジする積極性と集団行動の難しさ、挨拶の大切さを学んだ。」などの感想を述べていた。支援を担当した隊員も職業観、勤労観を育成させるとともに陸上自衛隊の任務



▲車両の空気圧点検をする参加者

及び活動を理解、認識させ地域防衛基盤の育成を図ることができたとしている。また、9月28日～30日の期間にも、出雲市立第一中学校、同浜山中学校、松江市立第三中学校、同第四中学校、同東出雲中学校に対して職場体験学習支援が予定されている。

ひらた100km徒歩の旅支援

駐屯地はひらた100km徒歩の旅実行委員会が主催した「ひらた100km徒歩の旅」に対し8月19日から20日の間、出雲駐屯地での宿泊・入浴及び給食支援を実施した。19日、三度笠をかぶった子供達一行約40名が大勢の支援者に支えられ駐屯地に元気な姿で到着した。子供達は到着後、給水と休憩の後、隊員食堂で夕食を摂り、その後、隊員浴場で入浴し、汗を洗い流すとともに疲れを癒していた。翌日20日は朝5時に起床し、出発準備を整え6時には元気よく100km完歩することを誓いながら出雲駐屯地を後にしていった。



▲元気良く駐屯地に到着した参加者達

守りたい人がいる

地域に根ざす 出雲駐屯地

守りたい人がいる

人事往来

転出

●幹部

▽施設隊

1等陸尉 山本 浩平

(施設学校 勝田)

▽業務隊

1等陸尉 辰巳 啓子

(阪神病院 川西)

●陸曹・陸士

▽偵察隊

3等陸曹 原口 博和

(第11偵察隊 真駒内)

陸士長 木原 哲平

(第1空挺団第1普通科大隊 習志野)

陸士長 朝日 健太

(中部方面会計隊 伊丹)

▽施設隊

1等陸曹 石村 功

(第4施設団本部付隊 大久保)

3等陸曹 曾我部 翔太

(第13施設隊 海田市)

3等陸曹 平田 篤史

(第4施設団本部付隊 大久保)

▽第1直接支援隊

1等陸曹 向田 徳男

(第104施設直接支援大隊整備隊 大久保)

2等陸曹 松本 宗樹

(第104施設直接支援大隊第2直接支援隊 三軒屋)

▽基地通信隊

1等陸曹 大田 博司

(第312基地通信中隊 海田市)

転入

●幹部

▽施設隊

1等陸尉 福田 浩之

(施設学校 勝田)

▽業務隊

1等陸尉 小泉 紀子

(阪神病院 川西)

1等陸尉 高山 智宏

(衛生学校 三宿)

●陸曹

▽施設隊

1等陸曹 川上 芳宏

(第8普通科連隊 米子)

2等陸曹 高橋 真一

(第2施設群 湯布院)

2等陸曹 出川 勇

(第307タンク車両中隊 大久保)

▽第1直接支援隊

1等陸曹 田井 稔

(第104施設直接支援大隊整備隊 大久保)

▽業務隊

1等陸曹 熊谷 伸士

(第47普通科連隊 海田市)

2等陸曹 鷺見 温弘

(豊川駐屯地業務隊 豊川)

▽基地通信隊

陸曹長 丸山 喜吉

(第312基地通信中隊 海田市)

祝 定年退官

永年の勤務お疲れ様でした。

偵察隊

1等陸尉 米原 利幸

帰住先：出雲市高松町



施設隊

准陸尉 松本 秀延

帰住先：出雲市古志町



10月定年退官予定者

業務隊 陸曹長 田部 範生

施設隊 陸曹長 神田 和秀





# 隊友会活動

## 退職予定隊員に講話

出雲支部 上岡明雄

島根県隊友会（会長 持田佳郎）は、7月6日、出雲駐屯地で平成29・30年度の定年退官予定者に対し「退職後の生活設計」について会長の体験談を交え講話を実施した。

特に、今日の社会、労働情勢等を鑑み、必要な知識及び再就職の心構え等、円滑な就職活動に資するべき事項を被教育者は終始真剣に聴講した。

また、会員から職場紹介もあり、活発な質疑応答を実施、退職準備に向けての情熱が伝わってきた。

## 親睦ゴルフコンペ

平田支部長 田中秋美

島根県隊友会は7月10日、出雲市大社カントリークラブにおいて、会長以下20名が親睦を目的に第3回ゴルフコンペを開催した。

当日は晴天に恵まれ、特別会員及び現職隊員と飛距離等自慢の腕を披露し競い合い、意義ある交流、親睦を図ることができた。

## 防災安全講演会

事務局次長 築森寛喜

島根県隊友会は7月30日、松江市の

くびきメッセにおいて、島根県主催の平成28年度防災安全講演会に各種団体等として14名が参加した。

兵庫県立大学大学院准教授、木村玲欧氏を講師として招き、「災害・防災の心理学」自助と共助で乗り切る防災入門」と題し、災害時の人間心理や行動は、普段「常識」として理解している心理・行動とは異なる点や災害時にはどのような心理状態になってどのような行動をとるのか、災害に備えて日頃からのような事を考えて備えておけば良いのかについて、事例を引用してのシミュレーションを交え、特に

防災の担い手は自助・共助・公助の重要性を熱心に解説され、「明日は我が身」の心構えについて再認識することができた。

## 御霊に捧ぐ吟詠

事務局次長 築森寛喜

島根県隊友会は8月15日、政府主催の全国戦没者追悼式に併せ、出雲市今市町の一の谷公園にある戦没者慰霊碑「平和記念塔」に会長他29名の会員、家族等が参集した。

本慰霊に石崎理事役、金子事務局次長が「異国の丘」「九段の桜」の二吟を合吟、川下理事役が「軍歌」を各々奉納し、御霊に慰霊の誠をささげ、平和への誓いを新たにしました。

# 読み終わったら 家族にも見せよう

## 出雲駐屯地創立63周年記念日行事

郷土に根ざす駐屯地

# 市中パレード

平成28年  
11月20日(日)

- 第13音楽隊演奏 9:35～9:55
- 記念式典・市中パレード 10:00～10:50  
出雲市くびき中央通り(市庁前通り)
- 装備品展示 11:30～12:00  
市役所南側公園付近

※ 駐屯地に制限がありますので、公共交通機関をご利用下さい。  
 ● 出パレードコース 開始時刻 8:00～12:00  
 ● 路上自動車出雲駐屯地 注意要請

※ 出雲市、島根県及び関係等により開催の要否又は中止とする場合があります。  
 お問い合わせ先  
 出雲駐屯地広報室 電話 0859-51-1045(内線550)

出雲駐屯地 検索

主催/島根県南出雲駐屯地・出雲地区防衛協会・出雲市南防衛協会  
 協賛/島根県・出雲市・防衛省・防衛施設庁・防衛研修所・防衛研究所  
 協賛/島根県防衛協会・防衛施設庁・防衛研修所・防衛研究所